

教育委員会会議 令和3年10月定例会 議事録

日 時	令和3年10月27日(水) 9:00開会 10:30閉会	会 場	中央公民館 第4会議室
教育委員会	教育長	武本 吉正	
出席者	委員	石原 昭和	佐古 庸二
		小椋 潤二	宗川 万喜子
			赤松 幸子
教育委員会欠席者	なし		
事務局職員	金平美和子 学校教育課長	黒瀬豊 生涯学習課長	
傍聴者	なし		
議事及び案件			
<p>1 開会</p> <p>2 教育長報告</p> <p>3 会議録署名委員の選出</p> <p>4 公表用議事録の確認</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1) 令和3年度学校等訪問の結果について</p> <p>6 その他</p> <p>次回 令和3年11月18日(木) 9:00～</p> <p>7 閉会</p>			

1 開会

2 教育長報告

- ・奥津芸術祭について
- ・教育委員会関係施設改修について
- ・小学校統合に関する方針に向けた今後の取組みについて
- ・美作学園との連携について

3 会議録署名委員の選出

4 公表用議事録の確認

5 協議事項

- (1) 令和3年度学校等訪問の結果について

学校について

- 人員の配置にこれからも努めてもらいたい。
- 訪問者のあいさつの時間があつた方がよい。
- 学校規模や子どもの実態に応じた指導ができていた。
- 小学校では知徳体の「体」に力を入れても良いのではないか。「知」に力が入りすぎている気がした。
- 小学校は、新しい指導要領に沿った取り組みができていると感じた。
- 中学校は「させる」という表現が気になった。「見回る」ではなく「見守って」ほしいと感じた。
- 人数が多い学校では学習の可能性が広がるということを感じた。
- 教育の現場で、落ち着いた授業をしていくために人的支援がいかに必要かということを感じた。
- 校長先生の考えの実現には、みんなが同じ方向を向きまとまっていることが大事だと感じた。

- いいなと思う学校と、もう少し頑張ってもらいたい学校があった。
- 家庭のWi-Fi環境が比較的整っていることが分かった。
- 小学校では、効果的な英語学習ができていた。それを中学校にもうまく接続して行ってほしい。
- 不登校傾向の児童生徒が減ってきているという印象を受けた。
- ふるさと学習を進め、鏡野町が好きだという子どもを増やして行ってほしい。

公民館について

- 資料(面積、規模、建設年度、世帯人口など)を準備してもらいたい。
- 地域や学校との関わり、活動状況などの説明の時間を持ってもらいたい。
- 社会教育委員にもほかの施設を見て回ってもらいたい。
- 公民館は地域活動の拠点としてのあり方を確認していくことが必要だ。

その他

- 日程の組み方(日数短縮)ができればよい。
- シニアスクールは、早めに検討し結論を出す必要がある。
- シニアスクールは、コミュニティスクールを進め、地域の人が学校に入っていくといった意味でも進めてほしい。

6 その他

7 閉会